

佐伯市宇目サテライトオフィスの立地表明に伴う新聞掲載資料

令和元年11月23日付け大分合同新聞

システム開発のグース 佐伯に新拠点開設



システム開発のグース（東京都、南雲亮代表取締役）は22日、佐伯市に新拠点を開設すると発表した。同社は2006年設立。EC（電子商取引）サイト制作運営やウェブコンサルティングなどを行っている。新拠点の場所は、県市が旧小野市保育所（同市宇目）の施設を活用して設置する「宇目サテライトオフィス」の1室。来年4月に開業し、ECサイトのサポートセンターやシステム開発作業を担う。

同社によると、社員の一人在佐伯市とゆかりがあり、東京から市内に転居して仕事を続けている。有能な人材が場所を選ばず働き続けられる仕組みをつくるため、オフィスの開設を検討していた。

地元を中心に5人を新規採用する予定。県産品のECサイト販売や県内事業者との連携事業にも取り組む。

関係者が同日、県庁を訪れて広瀬勝貞知事と田中利明市長に立地表明した。南雲代表取締役は「事業を通して地方での雇用創出、地域経済の活性化に貢献していきたい」と話した。

新拠点を開設すると表明した南雲亮代表取締役（右）



令和2年2月10日付け大分合同新聞

動画広告制作「ゆかい」 佐伯市に新拠点 4月に開業



デジタルコンテンツ企画制作のゆかい（東京都、毛見洋介代表取締役）は10日、佐伯市に新拠点を設置すると発表した。

同社は2017年に広告制作専門の子会社「殿」（東京都）を設立。5G（第5世代）移动通信システム時代の到来により動画広告市場の拡大が見込まれることから、ゆかいグループの関連会社がある大分の第2拠点を新設することに決めた。「インフラを整っていれば場所を選ばず仕事ができる。佐伯をモデルケースに他地域に展開していきたい」（同社）。

大分営業所は、県と同市が整備した「宇目サテライトオフィス」の1室。4月に開業し、動画パナー制作を担う。地元を中心に3人を新規採用する予定。

関係者が同日、県庁を訪れて尾野賢治副知事と田中利明市長に立地表明した。毛見代表取締役は「事業の発展を通して県経済の振興に貢献したい」と話した。

佐伯市への新拠点設置を表明した毛見洋介代表取締役（右）＝10日、県庁

